

# グローバル・アグリカルチャー& フード株式ファンド

追加型投信／内外／株式

## 交付運用報告書

第2期(決算日2024年7月26日)

作成対象期間(2023年7月27日～2024年7月26日)

第2期末(2024年7月26日)	
基準価額	9,793円
純資産総額	11,013百万円
第2期	
騰落率	△ 4.1%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル・アグリカルチャー&フード株式ファンド」は、2024年7月26日に第2期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、「グローバル・アグリカルチャー&フード株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<654702>

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

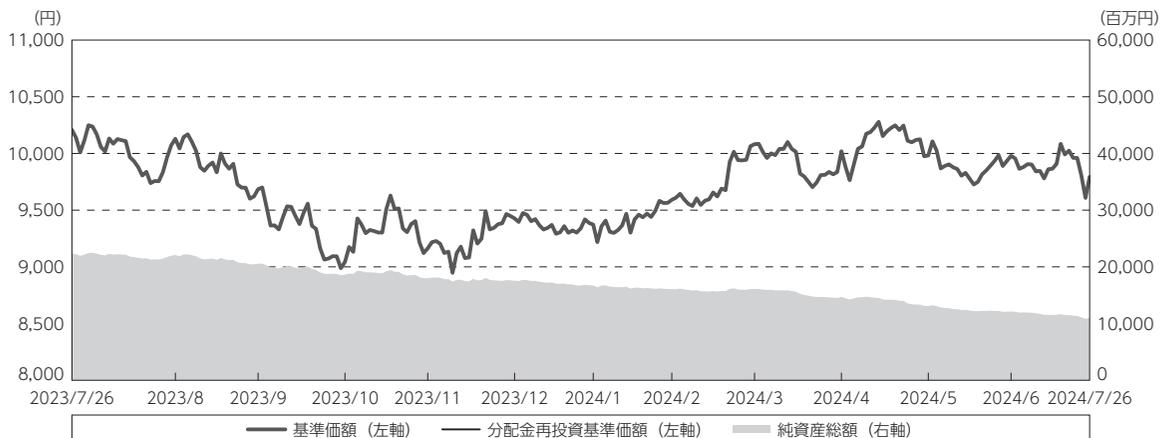
コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2023年7月27日～2024年7月26日)



期 首：10,208円

期 末：9,793円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 4.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年7月26日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として「グローバル・アグリカルチャー&フード株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

#### <値上がり要因>

- ・ 堅調な業績や米国経済のソフトランディング(軟着陸)期待などから、株式市場が全体的に上昇したこと。
- ・ 為替市場で円安の動きが進行したこと。

#### <値下がり要因>

- ・ 2023年10月にかけて、米国の長期金利が上昇したことなどから株式市場が全体的に軟調に推移したこと。
- ・ 価格高騰時に在庫が積み上げられていた肥料などについて、在庫過多の解消に時間がかかっていること。

1万口当たりの費用明細

(2023年7月27日～2024年7月26日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	177 ( 93 ) ( 80 ) ( 4 )	1.820 (0.957) (0.825) (0.038)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	3 ( 3 ) ( 0 )	0.029 (0.028) (0.001)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	4 ( 4 ) ( 0 )	0.037 (0.037) (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 費 用 等 )	4 ( 3 ) ( 0 ) ( 1 )	0.043 (0.026) (0.004) (0.013)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
合 計	188	1.929	
期中の平均基準価額は、9,715円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

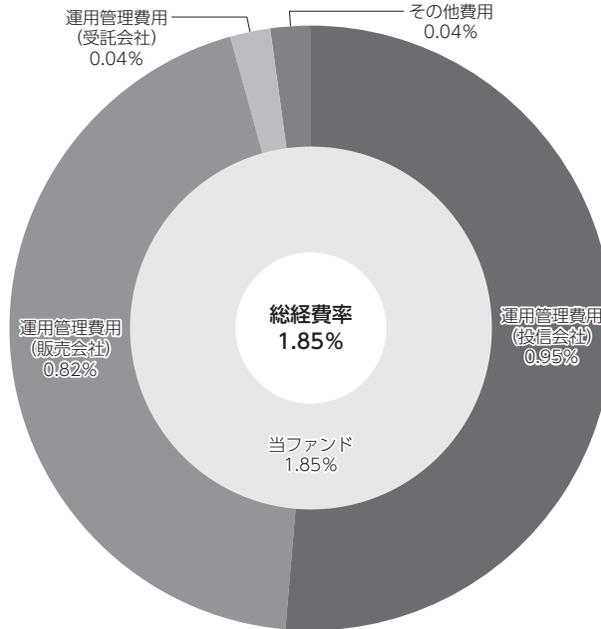
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものをみます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年7月26日～2024年7月26日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 当ファンドの設定日は2022年7月29日です。

	2022年7月29日 設定日	2023年7月26日 決算日	2024年7月26日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,208	9,793
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.1	△ 4.1
純資産総額 (百万円)	2,581	22,393	11,013

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年7月26日の騰落率は設定当初との比較です。  
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 投資環境

(2023年7月27日～2024年7月26日)

## (株式市況)

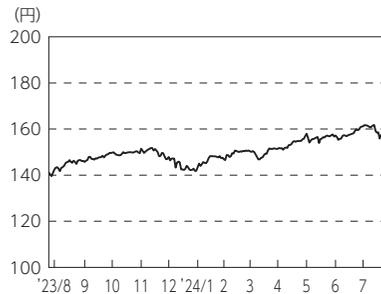
当期間の世界の株式市場は、インフレ動向や利下げ観測に左右される展開が続きました。セクター別では、生成AI（人工知能）に対する成長期待からハイテク銘柄が市場の上昇を牽引しました。2023年後半は、米国連邦準備制度理事会（FRB）の金融引き締め策が長期化するとの見方が強まったことなどを受け、米国の長期金利が上昇したことが世界の株式市場の重しとなりました。その後、年末にかけては2024年にもFRBが利下げを開始するとの見方が台頭したことで株式市場は上昇に転じました。2024年4月、米国で強めの雇用統計が発表され、FRBの早期利下げ観測が後退したほか、中東情勢を巡る地政学的リスクの高まりが懸念されたことから、株式市場が下落する局面も見られました。しかし、注目された半導体関連銘柄の業績が想定以上のものとなったことなどが好感され、株式市場は反発しました。その後は英国やフランスにおいて、政治面で不透明感が強まる場面が見られたものの、米国経済のソフトランディング期待などが下支え要因となり、株式市場の上昇基調は概ね継続し、期間末を迎えました。

アグリカルチャー&フード関連銘柄の株価は、世界株式市場に比べて軟調に推移しました。AIブームを背景に半導体に対する需要が強まるとの見通しを受けて、情報技術セクターが株式市場の上昇を牽引する中、アグリカルチャー&フード関連銘柄の株価は相対的に軟調な推移となりました。加えて農機需要に対する不透明感が台頭したことなども、マイナスに働きました。

## (為替市況)

期間中における主要通貨(対円)は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

(2023年7月27日～2024年7月26日)

## (当ファンド)

当ファンドは、「グローバル・アグリカルチャー&フード株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

## (グローバル・アグリカルチャー&amp;フード株式マザーファンド)

当ファンドでは、農業や食料の未来をリードするイノベーションに注目し、世界的な人口増加と気候変動がもたらす食糧危機問題の解決に貢献することが期待される、「農業イノベーション」、「フード・エボリューション」、「再生力のある経済」の3つの投資カテゴリーに基づいて、ボトムアップリサーチによりアグリカルチャー&フード関連銘柄を厳選して運用を行ないました。

期間中、主に「農業イノベーション」、「再生力のある経済」の投資カテゴリーに属する銘柄の株価が軟調に推移しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年7月27日～2024年7月26日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 分配金

(2023年7月27日～2024年7月26日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第2期
	2023年7月27日～ 2024年7月26日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	56

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### (当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・アグリカルチャー&フード株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

### (グローバル・アグリカルチャー&フード株式マザーファンド)

農業や食料の未来をリードするイノベーションに注目し、世界的な人口増加と気候変動がもたらす食糧危機問題の解決に貢献することが期待される、「農業イノベーション」、「フード・エボリューション」、「再生力のある経済」の3つの投資カテゴリーに基づいて、ボトムアップリサーチによりアグリカルチャー&フード関連銘柄を厳選して運用を行ないます。

米国の穀物市場は、気象条件に相場が左右されるいわゆる「天候相場」の時期に入りました。トウモロコシについては、栽培シーズンを迎え、週毎の作付状況や短期的な気候変動に左右されるとみています。なお、今後、異常気象が発生しない限り、トウモロコシや大豆の生産量に問題はないとみています。小麦については、悪天候によりロシアの生産量が大幅に減少するとの予想に加え、フランスの生産量が悪化するとの見通しから、価格が上昇する可能性もあると予想しています。

2024年第2四半期の企業業績については、栽培時期を迎える北半球での農業資材需要に注目しています。しかし、流通業者や生産者が在庫を抱えない（ジャストインタイム方式）傾向にあることで、企業業績における季節変動の規則性が変化する可能性もあると考えています。こうした環境下、短期的な見通しは依然として不透明ですが、農業と食料関連株式に対する長期的な見通しは明るいと考えます。世界の人口増に伴ない食料供給のための解決策が必要なこと、そして政府や企業、消費者の認識が高まるにつれてこの問題はますます重要になるとの考えに変わりありません。また、農業と食料に関連するサプライチェーン（供給網）全体の持続可能性を強化する必要があるという大きなトレンドは続くと思っており、これが人類全体にとって重要なテーマであることから、農業・食料分野におけるイノベーションは続くと期待しています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## お知らせ

2023年7月27日から2024年7月26日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引および外国為替予約取引の利用目的を明確化するべく、2023年10月27日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第21条、第22条、第23条、第28条)

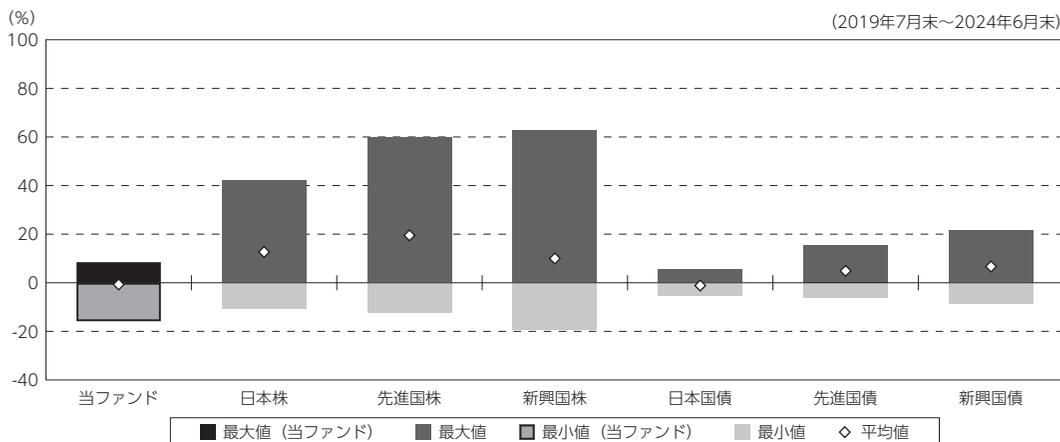
当ファンドについて、その商品性、基準価額水準および純資産規模等を勘案し、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、信託期間を無期限とするよう、2023年10月27日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(第4条、第57条)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2022年7月29日から原則無期限です。	
運用方針	主として、「グローバル・アグリカルチャー&フード株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	グローバル・アグリカルチャー&フード株式ファンド	「グローバル・アグリカルチャー&フード株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・アグリカルチャー&フード株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、農業（アグリカルチャー）や食料（フード）などに関連するビジネスを行なう企業の株式に実質的に投資し、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性などを勘案して行ないます。株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	8.5	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値	△ 15.8	△ 10.8	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	△ 0.7	12.7	19.5	10.0	△ 1.2	4.9	6.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年7月から2024年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2023年7月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

(2024年7月26日現在)

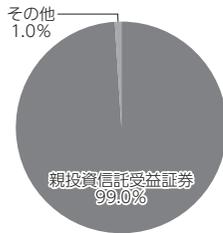
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第2期末
グローバル・アグリカルチャー&フード株式マザーファンド	99.0%
組入銘柄数	1銘柄

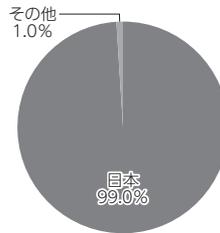
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

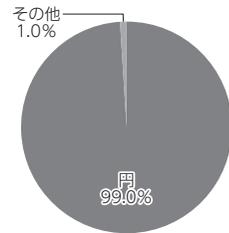
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

### 純資産等

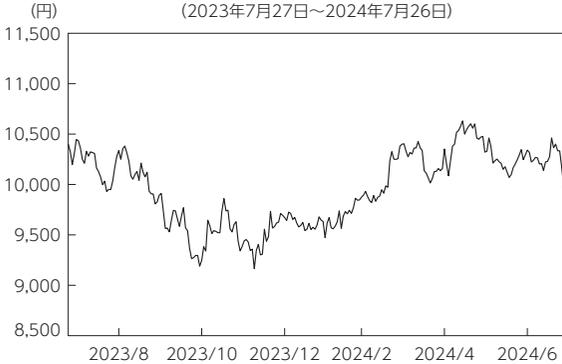
項目	第2期末
	2024年7月26日
純資産総額	11,013,536,421円
受益権総口数	11,246,180,157口
1万口当たり基準価額	9,793円

(注) 期中における追加設定元本額は1,446,078,265円、同解約元本額は12,136,901,756円です。

組入上位ファンドの概要

グローバル・アグリカルチャー&フード株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年7月27日~2024年7月26日)

項目	当期	
	金額 円	比率 %
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	3 (3) (0)	0.029 (0.028) (0.001)
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	4 (4) (0)	0.037 (0.037) (0.000)
(c) その他費用 (保管費用)	3 (3)	0.026 (0.026)
合計	10	0.092

期中の平均基準価額は、9,980円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

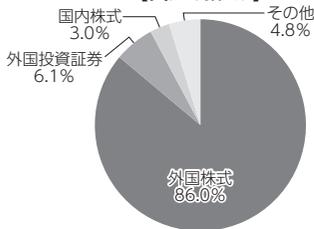
【組入上位10銘柄】

(2024年7月26日現在)

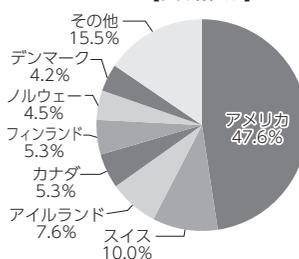
順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	CORTEVA INC	素材	アメリカドル	アメリカ	5.0
2	AGCO CORP	資本財	アメリカドル	アメリカ	4.3
3	NUTRIEN LTD	素材	アメリカドル	カナダ	4.2
4	CF INDUSTRIES HOLDINGS INC	素材	アメリカドル	アメリカ	4.2
5	NOVONESIS (NOVOZYMES) B	素材	デンマーククローネ	デンマーク	4.2
6	BUNGE GLOBAL SA	食品・飲料・タバコ	アメリカドル	スイス	4.0
7	GRAPHIC PACKAGING HOLDING CO	素材	アメリカドル	アメリカ	3.9
8	WEYERHAEUSER CO	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.8
9	UPM-KYMMENE OYJ	素材	ユーロ	フィンランド	3.7
10	POTLATCHDELTIC CORP	エクイティ不動産投資信託(REIT)	アメリカドル	アメリカ	3.7
組入銘柄数			35銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

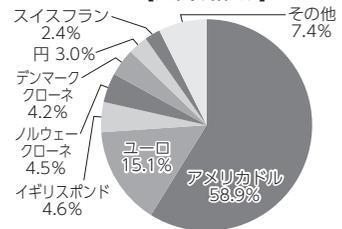
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。  
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。